

ドイツ連邦食料・農業省 最新農林漁業情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO16
2018・10・14

1 EU の共通農業政策はヨーロッパの将来と農業の運命に係る課題

(2018・10・5)

EU 共通農業政策（GAP）の改革提案は、今机の上にある。多くの問題がなお未解決である。これについてシュトットガルトでクレックナー大臣が、フィール ホーガン(Phil Hogan)EU 農業委員、バーデン＝ビュルテンベルグ州農業大臣ペーターハウク（Peter Hauk）そしてドイツ農民連盟会長ヨアヒム ルーヴィート(Joachims Rukwied)と会談した。

連邦農業大臣クレックナーは、今日 GAP のさらなる発展のための国際会議で、彼女の立場を明確にした。そして加盟国に政策実施上の裁量の余地を与えることについて、EU との連携において意見表明を行った。”我々は、繰り返し GAP の改革を語ってきた。ヨーロッパは均質でなく、異なる農業を伴った地域である。そしてヨーロッパの共通農業政策に対して、異なる様々な要請がある。我々はドイツにおいて自らみている。つまり、東部ドイツにおいて南部ドイツとの比較で、GAP に対する異なる要望が存在していることを。”

これは自明のことであり、そして証明できることである。そのため、我々は政治的な妥協でなく、数十年にわたる GAP の構成政策を追求してきた。この政策のさらなる発展とともに、国内裁量の余地との間のバランスを創り出すことに、責任を負っている。というのは、我々が GAP の将来を語る時、ヨーロッパの将来のためにも、強い農村地域は EU-同盟の結合において配慮されている。

GAP は 50 年来、ヨーロッパ同盟における都市、農村を問わず同価値の生活関係創出を奨励するための手段である。その上 GAP は、農業者の取り組みを正當に評価し、そして社会的に高度な要請のための補償を創り出す。

つまり、我々はヨーロッパにおける農業の権利を保持する。これは食料の高品質性、自然景観の保護、環境の保護と家畜の福祉が該当する。そのため、GAPの将来に向けた課題は、農業の運命課題である。

直接支払い

”2本の柱モデル”は、GAPの基礎構造である。その際、農業者のために実行し易いこと、または成果を達成し易いといったことが重要である。ヨーロッパにおけるそれぞれ異なった構造への視点でもって、加盟国の補助金カットと逡減の手段の選択を、自由に可能とすべきである。私は、委員会の提案である補助金のカットと逡減に際して、労働力数の請求は有意義でない。なぜならば誤りをもたらし、より多くの官僚主義を再び作り出す。そもそもこれは、ほんの少しの農家数のみに該当するだけである。ここではこの事柄には合意しない。我々は必要なかどうか、農業に疎い大投資家に対して、補助金を明確に逡減させるか、カットということを検証する。

申請事務等の簡素化

”まさに今、GAPの徹底的な簡素化のためのチャンスである。我々はこれを無条件に活用しなければならない。私はこれまでの委員会提案の中に、このことをまだ見てない。新しい目標は、新しい官僚主義の負担を阻止することである。事務の簡素化は、農業者の日常においてより強まるという視点で、農業者についてヨーロッパ政策の受け入れを高めることが重要である。私の省は、各州とともに具体的な簡素化の提案を作成する。私は、EU-レベルでの審議の中で力に力を尽くす。”

挑戦プラン

”我々は、政策上の観点からのみ考えるのではなく、我々が追求すべき目標からも考えねばならない。我々は、政策上の統一性でもってのみ、目的を達成すべきである。我々は、奨励する構造を配慮した新しいシステム実践のための、十分な裁量の余地を必要としている。そのため我々は、新しいシステムに合意するのみである。将来的な挑戦プランが、地域的部分を内容とする場合、この体制のために、各州が責任を有する。”

GAPの財政措置

”我々は GAP の意欲的な目標を、十分な財政支援でもってのみ達成可能である。私はこれまでの範囲での予算を獲得することによって、連立協約の実現を目指している。なぜならば、財源が GAP の目的達成を可能にする。さらに小一中規模経営が適切に奨励されることもまた含まれる。”

背景：

私はヨーロッパ農業政策の多くの共同を望んでいる。” 2020 年以降 GAP の展望をモットーに、バーデン＝ヴュルテンベルグ州の農村地域消費者保護省ペーターハウク (Peter Hauk) の招きで、GAP の将来のための会議を開催した。

この会議で連邦食料・農業大臣と並んで、特に EU-委員会の農村発展と農業のための委員フィール ホーガン (Phil Hogan)、そしてドイツ農民連盟会長ヨアヒム ルークヴィート (Joachim Rukwied) が参加した。バーデン＝ヴュルテンベルグ首相ヴィンフリー クレイトシュマン (Winfried Kuretschmann) が、歓迎挨拶でもって、会議が開始された。

2 連邦食料・農業大臣クレックナー大臣：海の持続的利用に責任を

(2018・9・24)

連邦大臣は、国際海洋研究協議会 (ICES) の年次会議を開催し、海洋の保護と持続的利用のための重要性を認めた。海洋は我々の中心的な生存基盤である。これは人類に世界的に栄養を与え、エネルギー源と保養の場である。だがしかし、これに対する社会的要請は、さらに高まっている。2050 年は、世界で約 100 億人の人々が生存する。将来的な栄養とその供給のために、海洋の重要性が増大する。

同時に多面的なエコシステムの保護が、益々重要となる。緊張を孕んでいるこの分野では、ICES が行動する。北東大西洋における魚類の数と海洋エコシステムの現況を分析し、重要な科学的知見をベースとした推薦対策を、政策に提供する。連邦大臣はこれについてコメントした：”我々は海洋漁業、バルト海漁業そして漁業生態系の国際的な科学討論に、大きな関わりをもって参画する。まず第一に先月我々は、漁業研究のためにブレーメンハーフェンに、最新式のインフラを構築する。海に直接出れるように。”

我々は漁業政策の中に、ICES の科学的な推薦を実行している。過去 10 年間に類いまれなる成果をしめしている。特にいわゆる”最大限の継続捕獲”の原則の、コンピュータ実装（インプリメント）は、既に北海ーバルト海に関して支援を行っている。北東大西洋において継続的に管理している魚の数は、飛躍的に増加している。2008 年に管理する 4 つの魚の現況のみから、54 に増えた。

現在そして将来においても、我々自身の取り組みと ICES の魚の現況に対する気象の進展が影響をもたらす。海洋ーエコシステムの持続的な保護と、養殖のエコシステムの芽生えの発展について、我々は ICES とともに取り組む。

背景：

2018 年 9 月 24 日から 27 日まで評価の高い海洋研究の ICES-年次会議が、ハンブルグで開催された。ICES は特に個々の魚種の数について、年間総漁獲量に関する助言を行っている。ドイツは海岸線約 2 400km を有する。そして ICES の創立国でもあり、2018 年年次研究会議（最終会議 2009 年）の 3 回目ホスト国でもある。連邦大臣クレックナーは、年次会議を開催した。2018 年 10 月でバルト海チューネン研究所のかつての所長 Dr. コールネーリース ハンマー (Comelius Hammer) が、ICES の会長であった。彼はこの会議に際して別れの挨拶を述べた。

3 連邦食料・農業省が子豚の去勢のための議員団イニシアチブを 一連立政権協約の実現に向けて一 (2018・10・2)

EU-同盟とドイツ社会民主党 (SPD) の連立議員団イニシアチブは、麻醉無しでの子豚去勢の完全禁止までに、今年に移行期間内において、なお約 2 年間の延長を考慮している。さらに連邦省は告示している：連邦農業省は、連立議員団が移行期間の延長に合意した。子豚生産が、ドイツにおいて将来的にも可能となることを維持すべきである。その際、連邦農業省にとって家畜保護が、非常に重要な関心事となる。連邦政府は将来的に、このことに力点を投入する。

期間延長無しにドイツの子豚飼育者が、外国のライバル国に対して競争上の不利に晒される。この競争上の不利は、特に小規模経営に該当する。この該当者が家畜保護を実施できないとき、母豚飼育者も消費者もともに、不利となる。このことは、外国における生産の移動と構造変革といった、好ましくない進展を導き出す。それは例外的に高度な生産水準の適用あるなしに関わらずに。

そのため、連邦農業省は麻醉無しの子豚の去勢について、動物保護上の代替

方法導入を一層推進する。これに関しては、規定策定の途上にある。農業者が麻酔の手法導入を可能にするために。このため、農業者は麻酔器具と薬の専門知識をもって取り扱うことができることを、証明しなければならない。

背景：

現在代替手法に何があるのか？

- ・免役学的な去勢（雄臭さに対するワクチン—ホルモン処理）
- ・麻酔のもとでの外科手術による去勢

連立政権協約において補完的に今ある方法に対して、さらに動物保護に即した子豚の去勢の代替方法について、科学的基礎に基づいた法的前提を創り出すことに合意している。。

2018・10・14 訳
青森中央学院大学
中川 一徹